

ひかり協会会報

おつかれあい

発行

公益財団法人 ひかり協会
〒530-0022 大阪市北区浪花町13-38
千代田ビル北館2F

□代表06(6371)5304
URL <http://www.hikari-k.or.jp>
発行責任者 理事長 前野直道
編集責任者 常務理事 塩田隆

ひかり協会と私

地域の皆さんに
ちいきのみなさん

感謝して
かんしゃして

（鹿児島）
やの
謙一郎
けんいちろう

第195号の記事

新・健康づくり10(第5回)
ふれあい広場／西から東から
5つの「がん検診」のおすすめ
守る会からのお知らせ／

実態把握調査票返送率と返送のお願い――

私は昭和29年11月に佐賀県多久市で生まれました。母乳の少なかつた母が主治医に相談し、森永ミルクを飲み始めたそうです。翌年8月に新聞を見た医師が慌ててミルク缶を確認、残つていた7缶とも、記号が全て一致していたそうです。10歩位歩けるようになつたのは、5歳か6歳の頃でした。

8歳で両親の故郷、鹿児島へ戻りました。全身まひで特に右半身に酷い障害が

残りましたが、いつも姉や
いとこが手を繋いだり背
負つて野山へ連れて行つて
くれたりして、楽しく過ご
しました。

ほとんどの付添つてくれました。2年生の時、養護学校に編入するため、家族全員で大阪に転居しました。高等部受験では普通科の進学コースに入学できました。

昭和44年、丸山先生の14年目の訪問の新聞報道があり、再結集した守る会は不

買運動や民事訴訟を起こし、私は第一次訴訟の原告として裁判に立ち、代表陳述を行いました。

国・森永・守る会が三者会談確認書を締結し、翌年ひかり協会による恒久救済事業が始まりました。私は資金を借りて雑貨店を始めました。母の手を借りてお店をやりながら、大好きな動物を飼うために勉強し、10種類以上の小鳥二百羽を産卵させてヒナから育て、言葉を教えたりして可愛がっていました。

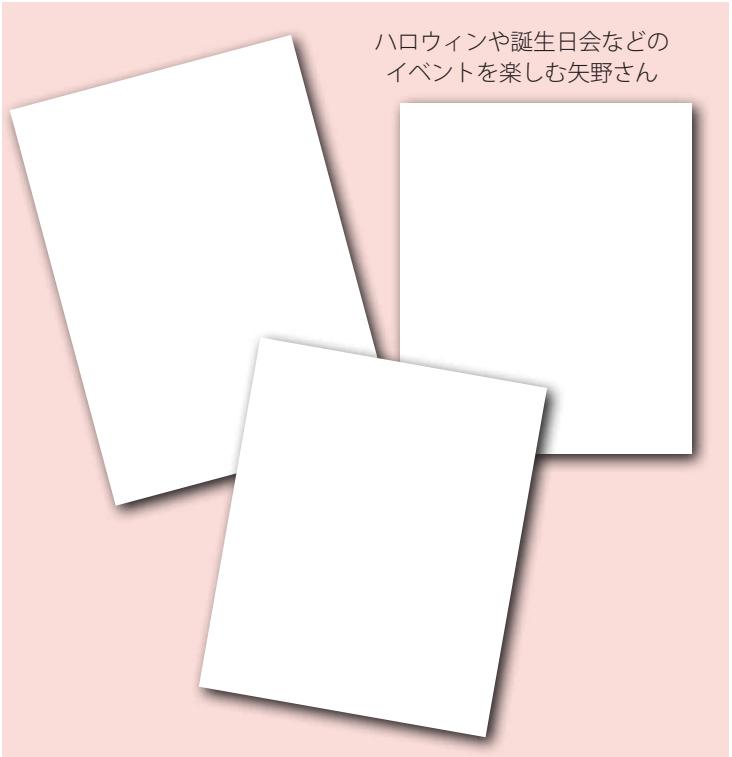
この間、次姉が若くして亡くなり、家族みんなショックを受け、鹿児島に帰る事にしました。大隅半島の田舎町で勉強を生かして小鳥店を始めましたが、徐々に体調を悪くして店をたたみ、昔住んだ野山に囲まれた田舎に引っ越ししました。大阪から連れてきた小鳥をはじめ百匹を超える動

物を母と世話して、大変ながらも楽しい毎日でしたが、29歳の時に母がくも膜下出血で倒れてしましました。父が母を看病する中、私もこのままではいけないと思い、協会の後押しを受けて障害者向け自動車教習所に通い、3ヶ月で免許を取得しました。母が亡くなるまでの1年半、私の運転でドライブや買い物を

一緒に楽しみました。認知症になつた母でしたが嬉しさにしてくれ、ほんの少しでも親孝行できた気がします。

30歳から守る会鹿児島県本部の役員および委員長を35年間務めました。交友関係も広がり妻と出会って結婚しました。障害者どうし助け合つてきましたが、歳をとり身体も弱くなつて運

ハロウィンや誕生日会などのイベントを楽しむ矢野さん



4時間パソコンとにらめっこですが、認知症予防になっています。介護のデイサービスにも週3回通い、自宅にもヘルパーさんが来て妻と一緒に生活を支えてもらひ、地域の皆さんに心から感謝しています。

これからも皆さんの支援

パソコンを使って描いた猫

事務所ヨリ

長年、県の守る会活動を牽引してこられた矢野さん。60歳まで公共サークルを運営していましたが、加齢や症状進行で徐々にサービスを使わず夫婦で生活されていましたが、加齢や日常生活を送つておられます。B型事業所では仕事の中心戦力となり、デイサービスでも明るい人気者です。昨夏は久しぶりに参加された交流会でも仲間に囲まれた笑顔が輝いていました。これからも矢野さんが望む地域での生活を楽しんでもらえるよう、多くの支援者の皆さんと連携しながら支援を続けていきたいと思っています。

昨年の10月と12月に、厚生労働省・守る会・森永乳業・ひかり協会によって、重要課題に関する協議が行われました。

第194回
第195回

「三者会談」救済対策推進委員会

障害被害者支援の行政協力などを協議

守る会からの要望

①成年後見制度活用に伴う課題（後見人の扱い手など）については、厚生労働省、実施主体の地方自治体、さらに家庭裁判所とも連携して取り組まれるよう要望

（回答）国と地方自治体が連携することは非常に重要なため、意見交換会などを開催して一層連携が図られるように取り組む。（守る会）市民後見人の育成も推進されているが、研修を受けても登録しない人も多いのではないか。（ひかり協会）被害者が市民後見人を利用しているケースはほとんどない。後見人の確保には、地域の専門家の協力や情報収集、面接などのていねいな対応が高いのが現状である。また、市民後見人にかかる相談窓口がどこにあるのか、もっと周知されないと制度の利用は進まない。

（回答）国と地方自治体が連携することは非常に重要なため、意見交換会などを開催して一層連携が図られるように取り組む。（守る会）市民後見人の育成も推進されているが、研修を受けても登録しない人も多いのではないか。（ひかり協会）被害者が市民後見人を利用しているケースはほとんどない。後見人の確保には、地域の専門家の協力や情報収集、面接などのていねいな対応が高いのが現状である。また、市民後見人にかかる相談窓口がどこにあるのか、もっと周知されないと制度の利用は進まない。

ひかり協会からの要望

②高齢者受給者証・資格確認書・資格情報のお知らせに、後期高齢者医療資格確認書と同様に限度額の適用区分欄を設け、被保険者に通知されるよう要望

（回答）後期高齢者医療資格確認書は基本的に有効期限が1年となっており、被保険者が保険者に依頼した場合には、どの広域連合でも限度額適用区分を記載した資格確認書を発行できる。

（回答）株式会社などの営利団体が参入することは想定していないので、悪質なことは起こらないと考えている。また、都府県知事には事業の調査、制限、もしくは停止を行う権限も付与している。

（回答）医療アクセスの乏しい離島や無医地区・準無医地区における医療提供体制の確保は重要な課題であり、僻地診療所の設置、治療拠点病院による巡回診療や医師の派遣などを実現するよう要望

（回答）医療アクセスの乏しい離島や無医地区・準無医地区における医療提供体制の確保は重要な課題であり、僻地診療所の設置、治療拠点病院による巡回診療や医師の派遣などを実現するよう要望

①身寄りのない高齢者等への対応として、入院・入所支援、死後事務支援等を提供する第二種社会福祉事業の新設が検討されている。社会福祉協議会以外の民間事業者がサービスを提供しても、当事者の意思が尊重され人権が守られるような対策を講ずるよう要望

（回答）OTC類似薬の保険適用除外について、詳細は全く決まっていないのが現状である。医療機関における必要な受診を確保して、子供・慢性疾患・低所得の方などの負担については配慮しながら実施する。

（回答）株式会社などの営利団体が参入することは想定していないので、悪質なことは起こらないと考えている。また、都府県知事には事業の調査、制限、もしくは停止を行う権限も付与している。

（回答）通所介護事業所等の多機能化（訪問機能の追加）が挙げられている。どのように訪問介護サービスの提供体制を確保するのか情報提供

（回答）通所介護事業所等に対する訪問機能導入において初期費用等を支援するなど、訪問介護サービスを拡大することを目的としている。また、人員基準や設備基準などを緩和して、一定の質があれば市町村が保険給付の対象として認めることができる。

シリーズ
新・健康づくり10
(第5回)
前ひかり協会理事
医師 祖父江友孝

がんの基礎知識⑤

「がんの治療」



今回は、がんの治療について解説します。

がんの治療法

がんの治療法には、大きく分けて、手術（外科治療）、放射線治療、薬物治療の3つがあります。手術と放射線は、がんのある部位に対して直接治療します

が、薬物治療は全身に広がったがんに対して治療ができます。最近では手術といつても、内視鏡や体腔鏡（腹腔鏡や胸腔鏡など）、あるいはロボット手術など、傷口を大きく開かない手術が多く行われるようになっています。また、放射線照射は通常何日間かに分けて行われますが、がん以外の部位にできるだけあたらないような工夫がされるようになります。重粒子線を用いた照射も保険適用されるようになっています。薬物治療は、従来はがんを死滅させる抗がん剤による治療（正常の細胞も死滅させるので副作用が大きい）が主

体でしたが、最近はがん細胞のみをターゲットとした薬剤（分子標的薬）が開発されています。また、本来の免疫機能に働きかけてがんを攻撃する免疫療法も行われるようになりました。

標準治療

こうした多数の治療法の中で何を選択するかは、診断の過程で臓器・ステージが決まる、概ねがんの治療法が決まつてきます。特に初回治療については、多くのがんで、臓器ごとに学会などが診療ガイドラインを定めていて、「どの臓器のどのステージのがんには、こういう治療が推奨されます」と定められています。このガイドラインで推奨されている治療法を標準治療といつて、証拠に基づいて多くの専門家の合意のもとに定められたものであります。治療法についても、臓器ごとにかなり異なりますので、国立がん研究セン

ターゲットが提供するホームページ（<https://ganjoho.jp/>）が参考になると思います。ただし、標準治療にも複数の選択肢がある場合があり、そうした場合は、主治医と患者・家族で相談して治療を選択することになります。治療法ごとに効果と副作用が微妙に違うので、患者・家族側で何を重要視するのかによって、選択が異なる場合もあります。したがって、患者・家族側で治療法を正しく理解することが望られます。

標準治療は、専門家が証拠に基づいて定めた治療法なので、必ずしも最新の治療ではありません。最新の治療法はまだ未確定な部分



(放射線治療の様子)
出典：国立がん研究センター「がん情報サービス」ホームページ

が多いので、特別の事情がない限り、標準治療を受けることをお勧めします。

じーの病院を受診するか

こうした診断や治療を、「一体どこの病院で受けばいいのか」ということについてですが、かかりつけ医から紹介された病院へ行くことがまずは無難です。

一般的には、全国で約400の病院が国によってがん診療連携拠点病院に指定されており、また、都道府県が独自で指定している病院もあるので、こうした病院であれば安心して受診できます。治療法ごとに効果と副作用が微妙に違うので、患者・家族側で何を重要視するのかによって、選択が異なる場合もあります。したがって、患者・家族側で治療法を正しく理解することが望られます。

標準治療は、専門家が証拠に基づいて定めた治療法なので、参考になると思いま



ふれあい広場

ギターの音色に癒されて♪

(島根) 坂本 益実

はとても美しい。ギターを始めたのは中学生の時だつた。弟が先に始めていた音を聴いて音色に魅かれた。結婚して、子育て中にはギターを車の中で隠れて練習し、運動公園に行き人前で練習した。最初は我流でやつていたが、7年前からギター教室に通い、基礎から教えてもらつた。ギターは教室の先生から、かなり高級なギター(メーカーは有名な「桜井正毅」)を譲つてもらつた。毎週ギター教

室に通い、毎年50人くらいの人の前で発表会があり、11月30日に発表会に出た。今年は12人中1番バッタ一でかなり緊張した。楽曲は「ラグマリア」と「ノクターン」。人前で弾くことが一番大変だけど、途中で止まらない7分間を弾きこなす事が一番大事で、集中して何とか乗り越えた。

演奏する坂本さん

してきた。近年は日帰り交流会となりみんなに聴いてもらえる機会が無くなつたと覚えてもらっている。先日参加した健康懇談会で参加者に発表会のインフォメーションをしたら、「頑張つて」と声をかけてもらえた。

もう一つの趣味は野菜作り。耕して、苗を植えて、成長を楽しみ、収穫した野菜を配る。キュウリ、ナス、ピーマン。今年はスイカも育てたが難しかつた。無農薬で育てるのが自慢。収穫した野菜を職場や近所にお

すそ分けしている。喜んでもらえると、自分も嬉しくなる。また、野菜の調理方法は協会の相談員さんが教えてくれたりもして、美味しく食べている。野菜づくりは楽しいが、近年仕事の関係で足腰が弱くなり、思うようにできなくなつたが、無理せず続けている。

60代からあちこちと病気が出て、仕事に自転車で通勤する毎日だが、70歳になつてもギターの音色に癒されている。これからも発表会に出られるよう頑張りたい。

▼私自身の体調不良が、体质なのか環境なのか、それとも薬の副作用なのかが分かつていません。それでも、もっと気を強く持たなければと思っています。
(岡山 H)

▼各地の被害者の皆さんの方が分かり、私だけが苦しく悲しい思いをしていると思わなくていいので、気持ちが救われます。
(東京 O)

▼年を重ねると健康への不安が増えていきます。大変な思いをされた勝井さんの体験談は、とても参考になりました。(滋賀 匿名)

▼事件70周年記念式典の記事で詳しく知ることができ、改めて当事者としての認識が持てました。

西から 東から

② 最近、血液や尿からがんを調べる「新しい検査法」があるらしいけれど、なぜ推奨していないの？



がんでの死亡率が下げられる検査法としての効果が、まだ証明されていないからなんじゃ。また、これらの検査が異常値となったあとにどう行動すればよいのか明確に示されておらんのじゃ。
PET、腫瘍マーカーなどは、がんの再発や転移を調べるための検査としては重要じゃが、がん検診としての効果（がんによる死亡を減らし、利益が不利益を上まわる効果）は認められていないんじゃよ。

③ 気になる症状がないのに「がん検診」を受けるの？



早いうちにがんを見つけると治しやすくなるので、自覚症状が出る前にがん検診を受けることを勧めておるんじゃ。

④ 検査結果が「精密検査不要(がんの疑いなし)」だったら？



その後も定期的にがん検診を受けることが重要じゃ。もし、気になる症状が現れたら、次回のがん検診まで待つのではなく、すぐに医療機関を受診することが重要じゃ。

⑤ 検査結果が「要精密検査(がんの疑いあり)」だったら？



自分の命を守るためにも、必ず精密検査を受診してほしいのお。

☆健診・がん検診の結果は、かかりつけ医などに見てもらいましょう。

☆ひかり協会でも健診・がん検診の結果に対するアドバイスを行っています。

希望される方は医療費の申請の際に健診結果（写し）を同封してください。

☆ひかり協会では、健診・がん検診の自己負担金の一部援助を行っています。

■□■ 詳しくは、各地区センター事務所まで、お尋ねください。■□■



ひかり協会からのお知らせ

5つの「がん検診」のおすすめ

胃がん

大腸がん

肺がん

乳がん

子宮がん



みなさんは、今年度がん検診を受診しましたか？



① なぜ、協会は5つの「がん検診」を勧めているの？



国は、がん死亡を減らす効果が確実で、かつ、**利益(メリット)**が**不利益(デメリット)**を上回る検診ということから、この5つのがん検診を勧めておるんじや。このことから、ひかり協会でも5つの「がん検診」を勧めておるというわけじや。

② がん検診の利益(メリット)ってなに？



がん検診の最大の利益(メリット)は、検診により**命を守ること**じや！ 検診で早い時期にがんを見つけることができれば、80～90%以上治ると言われておるぞ。

③ では、がん検診の不利益(デメリット)ってなに？



不利益(デメリット)には、「偽陽性」「偽陰性」「偶発症」「過剰診断」などがあるんじや。

どんな検診であっても、不利益(デメリット)はあるものなんじや。

偽陽性：誤って「がんの疑いがある」と判定されてしまうこと

偽陰性：誤って「がんの疑いがない」と判定されてしまうこと

偶発症：検査に伴って出血やバリウムの誤嚥などが起こること

過剰診断：死亡につながらないがんを見つけてしまうこと

④ 体調が悪くても、受診していいのかな？



がん検診を受けることが心配な場合は、**かかりつけ医など**に相談して決めることが一番じや。

守る会からのお知らせ

将来的な組織活動を検討

守る会の方針

ひかり協会理事会は、昨年3月に「終生にわたる事業と運営・体制の構想」を決定されました。この「構想」と関連して、守る会は「第三次10ヵ年計画終了後の守る会組織活動の検討課題」として、本部役員、都府県本部組織、特別会計、会費など今後の組織活動について検討を開始する方針です。

「構想における『三者会談』とひかり協会の将来」

「構想」では、次のように位置づけられています。

「三者会談」の将来

第三次10ヵ年計画終了後から守る会の組織活動が必要最小限に縮小されるまで(2031～2040年度)は継続する。

守る会の方針

頃は、「三者会談」の構成員及び「三者会談」救済対策推進委員会の開催頻度については必要性を検討したうえで縮減する。

守る会の組織活動が必要最小限に縮小されて以降も、被害者が三者会談確認書の精神を尊重する立場で「三者会談」に出席できるようになります。

公益財団法人ひかり協会の将来

将来

守る会全国本部による評議員・非常勤理事・監事の推薦と会議への参画、本部二者懇談会におけるひかり協会の事業と運営・体制に対する意見・要望の提起などの組織的協力を得ることを、守る会の組織活動が必要最小限に縮小されるまでの検討課題は、守る会の組織内で積極的に討議する予定です。

将来的な組織活動の検討

前記の「三者会談」やひかり協会の将来に対しても、これに沿った守る会の組織活動を検討しなければならないため、次の課題を設定しています。

- ①全国総会に代わる決議機関について
- ②全国本部役員（四役・常任理事）について
- ③「三者会談」等への出席
- ④都府県本部の組織と活動
- ⑤ひかり協会への組織的協力について
- ⑥会費・特別会計について



「被害者実態把握調査票」の返送は3月末までです！

「被害者実態把握調査2025」の調査票の返送にご協力いただき、本当にありがとうございます。12月25日現在、4,198人の方から調査票を送っていただき、返送率は82.1%まで到達しました！

調査結果については、第三次10ヵ年計画の総括に反映し、第三次10ヵ年計画後の事業運営の検討などに活用していきます。

もし、まだ調査票が手元に残っていましたら、3月末までに返送していただくようお願いします。